

学校名 熊谷市立大麻生小学校
所在地 熊谷市大麻生51番地
電話 048-532-3518

1 本校の概要

本校は、明治13年に開校し、今年で139年を迎える児童320名、14学級（特別支援学級2）の歴史と伝統ある学校である。熊谷市の西部に位置し、豊かな自然に恵まれた地域である。保護者・地域の方々からの支援をいただきながら、素直で心豊かな児童の育成に努めている。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ア 読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組
- イ 言語活動の充実など学力向上に結び付けた取組

(2) 実践の概要

全校児童の読書意欲を高め、豊かな心情と幅広い知識を身につけさせることをねらいとして、以下の実践をしている。

ア あじさい読書月間（6月）の取組

・あじさいの掲示

図書室横の掲示板上に低学年は2冊ごと、中学年以上は100ページごとに1枚、あじさいのカードを掲示している。

イ 実りの秋読書月間の取組

（10月下旬～11月下旬）

・図書委員による読書集会

読み聞かせ・本に関わるクイズを実施している。

・読書感想文の紹介

読書感想文コンクールに入選した児童の作品を給食の時間に放送して紹介している。

・朝の全校一斉読書（1週間）

先生方も一緒に読書・読み聞かせをする。

・読書のしおり、読書標語作り

好きな本の感想と絵（1～3年生）、本、読書に関わる標語（4～6年生）をかき、各クラス2点提出とし、図書室横の掲示板上に掲示している。



・「実りの秋読書月間」の木の掲示

図書室横の掲示板上に学校として1つの木を用意し、低学年は2冊ごと、中学年以上は100ページごとに1枚、葉のカードを掲示している。



・縦割り読み聞かせ

異学年での読書を通じた交流を図るため、縦割り遊びの時間に6年生が班員に読み聞かせを行う。



ウ 雪だるま読書月間の取組（1月下旬～2月下旬）

・雪だるまの掲示

図書室横の掲示板上に低学年は2冊ごと、中学年以上は100ページごとに1枚、雪だるまのカードを掲示している。

エ ボランティア『こづえの会』による読み聞かせ
全学年の児童を対象に、ボランティアによる読み聞かせを実施している。

3 成果と今後の課題

(1) 成果

ア 全校で朝の読書タイムを設けることで、読書の習慣化を図ることができた。読み聞かせボランティアや縦割り読み聞かせを通し、様々な本にふれることができ、児童の読書への関心を高めることができた。

イ 読書月間に様々な取組を行うことができた。今までふれたことのない本にもふれることができた。

(2) 課題

ア 本の質の充実に努めていく。

イ 業間休みと昼休みに図書委員が貸し出しを行っているが、年間で借りる量が少ない児童もいる。

(3) おわりに

今後も、読書の習慣化を図ったり、図書室の利用率を高めたりする工夫をしていきたい。